



(沼津)

御所之内遺跡は、伊豆半島の頸部、狩野川右岸の独立丘陵守山の北側に展開する広大な遺跡で、北条氏の館、円成寺、堀越御所跡が重複している。東海道三島宿からは南方約7kmに位置し、標高一三三m程の自然堤防上である。

木簡は、幅三・一m深さ一・三mの堀の底から、馬骨・かわらけ・竹籠などとともに一点出土した。年代は、他の遺物から一四世紀

静岡・御所之内遺跡

- 1 所在地 静岡県田方郡菰山町四日町
- 2 調査期間 第八次調査 一九八九年(平一)二月～三月
- 3 発掘機関 菰山町教育委員会
- 4 調査担当者 原 茂光
- 5 遺跡の種類 居館跡
- 6 遺跡の年代 一二世紀～一五世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

と考えられる。

8 木簡の釈文・内容

(1) 如来尊重智慧深

(240)×15×0.8 019

本木簡は上部が折損し、下端部は腐朽している。「遠」の一文字が欠落しているが、法華経卷第三、藥草喻品第五の「如来尊重智慧深遠」を書いた柿経とみられる。

9 関係文献

菰山町教育委員会『御所之内遺跡第八次発掘調査概報』(一九八九年)

(原 茂光)